

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
着付応用		ブライダル学科/2年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	笠無 里奈(実務経験有)
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・1年時に学んだ着物の知識をより実践的に深める。 ・浴衣、訪問着の着付を習得する。 ・訪問着の着付け、二重太鼓、変わり結び <p>【実務経験】 笠無 里奈：美容師として18年の勤務経験。 これまでの美容実践を活かし学生のロールモデルとなること。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・着付け基礎の確認、習得。より綺麗な着せ付けができるようになる。 ・自分で訪問着が着れるようになる。 				
回	テーマ	内 容		
1～2	着付け基礎の確認	浴衣着付けの確認		
3～5	浴衣を着る	背中心、着丈、おはしおりの始末を学ぶ。 1年生の時の復習		
6～8	帯のアレンジ	帯結びを学ぶ。(方花文庫や矢の字結びなど)		
9～11	浴衣を着せる	相モデルで浴衣を着せる		
12～14	訪問着基礎の確認	小物、補正、長襦袢、着物の知識		
15	期末試験(浴衣の着せつけ)	浴衣着付け(相モデル)実技審査		
16	補正・小物の名前	小物の名前、使う位置		
17	補正の位置	補正の作り方、入れる位置		
18	肌襦袢	肌襦袢の着方		
19	長襦袢	長襦袢の着方		
20	訪問着を着る	補正		
21～22		補正、衣紋抜き、斜め上げ、長さの調整		
23	訪問着	訪問着の仕上げ		
24	帯の結び方	お太鼓、三十紐の使い方		
25		帯揚げ、帯締め、始末		

回	テ ー マ	内 容		
26	小テスト	小テスト		
27～ 28	変わり結び	変わり結びの仕方		
29	期末試験	期末試験		
30	復習、片付け	復習、片付け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価 確認テスト 期末試験	20.0% 40.0% 20.0% 20.0%	【事前準備】 不要

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルコスチューム応用		ブライダル学科/2年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	前田 遥奈
授業の概要				
1年次に学んだ基礎を実践に活かせるよう知識を深め、貸衣装に携わるために、必要な実践的技術を学ぶ。プランナーとしても必要な実践的技術を学ぶ。プランナーとしても必要なアテンドテクニックを学び、お客様にヘアアドバイスができるようになる。また、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・花などのトータルコーディネートができるようになる。				
【実務経験】前田遥奈：ドレスコーディネーターとして3年の勤務経験。 これまでの実務経験を活かし、知識・実技を伝えている。				
授業終了時の到達目標				
婚礼衣装業務に関わるプロとしての知識を得る。 アテンドテクニックやアドバイス方法を身に付け接客できるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	フィッティングの復習	マネキンを使ってドレスの試着練習、タキシードと一緒にディスプレイ		
2	婚礼の衣裳(洋装)	ペアになってドレスの試着		
3	洋装の立振舞い	新郎新婦の立振舞い、歩き方(実践)		
4		お客様に教える練習(実践)		
5	花嫁和装	フィンティング~アドバイス		
6	洋装の立振舞い	挙式、披露宴での立振舞い		
7	和装の立振舞い	挙式、披露宴での立振舞い		
8~9	ロールプレイング	カウンセリング~試着準備~提案		
10~11		フィンティング~アドバイス~補正		
12	衣裳店の業務	メンテナンス方法、陳列方法		
13	プランボード作成	コーディネートしたプランボードの作成		
14	発表	作成の続きと発表		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本のドレスコーディネーター 育成プログラム		出席率 課題・レポート 実習・実技評価 期末試験	10.0% 20.0% 40.0% 30.0%	【事前準備】 不要

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パソコン演習応用		ブライダル学科/2年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	上井 宗大

授業の概要

Windowsパソコンでビデオ編集を行うには、無料ソフトの「Windowsムービーメーカー」が便利です。当授業は、Windowsムービーメーカーを使ったビデオ編集方法を解説しています。ビデオ素材の取り込みから、ビデオクリップの基本操作、シーン間の切り替え効果、テキストの配置、DVDやファイルへの出力まで、ビデオ編集に必要な知識・操作を体系的に紹介しているので、初心者の方でも安心です。さらには、静止画と音楽を組み合わせた「スライドショー」を作る方法も解説。Windowsパソコンでビデオを制作したい方、すべてにおすすめです。

授業終了時の到達目標

結婚式などで活用される映像作成やアイデアを身につける

回	テーマ	内容		
1～ 2	第1章 動画制作の準備を整えよう	各種必要ソフトの準備とインストール 素材動画とBGMの選定		
3～ 4	第2章 動画の素材を取り込もう	各種ファイル形式について 変換ソフトの活用		
5～ 7	第3章 ビデオクリップを編集しよう	ストーリーボード、ビデオ分割、複製、トリミングについて		
8～ 10	第4章 動画に演出を加えよう	切替効果、特殊効果、素材効果の編集、タイトルとテロップ、テキスト効果		
11～ 12	第5章 音楽・音声を組み合わせよう	オーディオ機能、BGM編集、効果音とナレーション、音量バランス		
13	第6章 写真と音楽でスライドショーを作ってみよう	課題演習		
14～ 15	第7章 完成した動画を出力しよう	課題演習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
今すぐ使えるかんたん ビデオ編集&DVD作り [Windows 10&ムービーメーカー対応版]		出席率 課題・レポート	50.0% 50.0%	【準備学習】不要

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルプランニングⅡ		ブライダル学科/2年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(80時間)	必須	神内朋子, 堀内彰仁
授業の概要				
ブライダルコーディネーター、衣裳コーディネーターなどの仕事を疑似体験し、ブライダルに関わる仕事を理解する。また、グループで協力し、各個人が達成感を得られるようにする。				
授業終了時の到達目標				
1. 協力し、意見交換をおこなえる。 2. 各担当の仕事を責任もっておこなえる。 3. ブライダルショーの成功				
回	テーマ	内容		
1	ブライダルショーについて	1) 動機づけ・ブライダルショーの概要説明 2) 役割発表とグループ分け		
2	ブライダルショー企画準備	3) グループごとに企画の話し合い 4) 企画書作成準備		
3	ブライダルショー企画準備	5) 企画書作成 6) 会場への質問事項		
4	ブライダルショー会場見学	会場見学		
5	ブライダルショー企画作成	7) 企画完成		
6	ブライダルショー準備	8) 準備計画、予算立て		
7	ブライダルショー準備	9) 担当ごとに買い出し		
8~ 26	ブライダルショー準備	10) 担当ごとに準備		
27~ 31	リハーサル	30) テクノホールでリハーサル		
32	リハーサル	35) 会場でリハーサル		
33	作成物	36) 準備物再調整		
34~ 37	リハーサル	37) テクノホールでリハーサル		
38	"	"		
39	ブライダルショー本番	本番		
40	"	"		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	【準備学習】 次の回の作業がすぐに出来るよう、 買い出しなどを分担して行ったおく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル研究		ブライダル学科/2年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	100回	6単位(200時間)	必須	神内朋子・堀内彰仁
授業の概要				
<p>・実際の結婚式運営にあたり、お客様との打ち合わせから顧客のニーズに合ったサービスを提供することと、業者とのやりとりから責任の重さを実感し、一から結婚式を創り上げていく苦勞と結婚式で起こるアクシデントに対応できる力を身につける。また、チームワークの大切さを知ること、就職先でも他部署、業者との連携の重要性を知ることができる。</p> <p>・今までに学んだ知識を、実践できるようになる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. チームワークを大切にし、お互い協力しながら意見交換を行えるようにする。 2. 各打ち合わせがスムーズに行えるようにする。 3. 一人ひとりが与えられた仕事を責任持って行えるようにする。 4. 自ら提案し、お客様が求めていることを先読みして形にする努力ができるようになる。 5. 結婚式を成功させるための準備やりハーサルを細かく行うことができるようになる。 				
回	テーマ	内容		
1~2	お客様衣裳合わせ 打合せ準備	衣裳店で新婦の衣裳合わせ 1回目の打ち合わせ準備		
3~4	打合せ準備	打合せの資料作り		
5		資料作り続き 打合せ練習		
6~7	打合せ 作成物	打合せ 作成物		
8	打合せのまとめ 作成物	打合せのまとめ 作成物		
9	作成物	作成物		
10	作成物	作成物		
11	作成物	作成物		
12	作成物	作成物		
13~14	打合せ練習	打合せ練習		
15~16	打合せ	打合せ		
17	打合せまとめ 作成物	報告 作成物		
18	作成物	作成物		
19	作成物	作成物		
20	作成物	作成物		

回	テ ー マ	内 容
21	作成物	作成物
22	作成物	作成物
23～ 24	打合せ練習	打合せ練習
25～ 26	打合せ	打合せ
27	打合せまとめ	打合せ報告
28	作成物	作成物
29	作成物	作成物
30	作成物	作成物
31	作成物	作成物
32	作成物	作成物
33	作成物	作成物
34	作成物	作成物
35	作成物	作成物
36	作成物	作成物
37～ 39	打合せ練習	打合せ練習
40～ 41	打合せ	打合せ
42	打合せまとめ	報告
43	作成物	作成物
44	作成物	作成物
45	作成物	作成物

回	テ ー マ	内 容
46	作成物	作成物
47	作成物	作成物
48	作成物	作成物
49	作成物	作成物
50	作成物	作成物
51	作成物	作成物
52	作成物	作成物
53	作成物	作成物
54～ 55	打合せ練習	打合せ練習
56～ 57	打合せ	打合せ
58	まとめ	報告
59	作成物	作成物
60～ 61	拳式リハーサル練習	拳式リハーサル練習
62～ 63	披露宴リハーサル練習	披露宴リハーサル練習
64	作成物	作成物
65～ 66	リハーサル	リハーサル
67	作成物	作成物
68～ 69	リハーサル	リハーサル
70～ 72	会場リハーサル	会場リハーサル
73～ 74	リハーサル	リハーサル

回	テ ー マ	内 容		
75～ 76	リハーサル	リハーサル		
77～ 78	リハーサル	リハーサル		
79～ 81	会場リハーサル	会場リハーサル		
82～ 83	リハーサル	リハーサル		
84～ 85	リハーサル	リハーサル		
86～ 88	会場リハーサル	会場リハーサル		
89～ 90	リハーサル	リハーサル		
91～ 92	リハーサル	リハーサル		
93～ 95	装飾準備	装飾準備		
96～ 98	会場準備	会場準備		
99～ 100	会場リハーサル	会場リハーサル		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価 課題	10.0% 50.0% 40.0%	【事前準備】 購入物など事前に 準備し、すぐに作 業に取りかけれる ようにしておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル実務Ⅱ		ブライダル学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルビジネスにおいて、お客様のニーズを汲み取り、各種分業の壁を越えて幅広いコーディネートをし、お客様にあったブライダルサービス・商品等を提供することができるようになる。 ・ブライダルコーディネート技能検定の合格を目指す。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・挙式、披露宴に関するあらゆる業種を含む幅広い知識を身につける。 ・式を円滑に運営するオペレーション知識を身につける。 ・ブライダルコーディネート技能検定3級合格 				
回	テーマ	内 容		
1~2	L4コーディネーター業務 L5打合せ業務	成約業務		
3	L6コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	衣装選定 フラワー		
4		ヘアメイク テーブルコーディネート ペーパーアイテム		
5		料理 演出 引出物		
6	L7手配業務	手配業務のものと流れ		
7	L8当日業務	コーディネーター業務 アテンド業務		
8		テーブルセッティング サービス業務		
9	検定対策	過去問 (AWP)		
10		過去問 (AWP)		
11		過去問 (ABC)		
12		過去問 (ABC)		
13	小テスト	小テスト		
14		過去問 (ABC)		
15		過去問 (ABC)		
16		過去問 (ABC)		

回	テ ー マ	内 容		
17	小テスト	小テスト		
18		過去問 (ABC)		
19		過去問 (ABC)		
20		過去問 (ABC)		
21	小テスト	小テスト		
22		実技試験の内容		
23		過去問 (ABC)		
24	教科書チェック	教科書の見直し		
25		過去問 (ABC)		
26		過去問 (ABC)		
27		過去問 (ABC)		
28	小テスト	小テスト		
29	中テスト	中テスト		
30	検定	ブライダルコーディネーター技能検定		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ブライダルコーディネーターテキスト (スタンダード)		出席率 確認テスト 実習・実技評価 検定取得	10.0% 50.0% 20.0% 20.0%	【事前準備】 授業の復習を必ず しておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルヘアメイク応用		ブライダル学科/2年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	辻田 乃里香(実務経験有)
授業の概要				
ブライダルシーンにおけるメイキャップやヘアアレンジの取得、応用				
実務経験】辻田乃里香：美容師として21年の勤務経験。 これまでの美容実践を活かし学生のロールモデルとなること。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・華やかかつ自然なベース作りが出来る ・グラデーションが美しく出来る ・お客様の骨格、お肌のコンプレックスをカバーできる ・夜会巻きのアレンジが出来る ・それぞれのタイプに合わせたヘアアレンジが出来る ・お色直しの事を考えヘアアレンジが出来る・お客様のドレス、イメージに合わせたメイキャップが出来る 				
回	テーマ	内容		
1	メイクのポイント応用	シーンにおけるファンデーションの塗布のポイント。お顔の立体感を強調するハイライト。		
2		ベースメイク		
3		目の形に合わせたアイシャドウの入れ方。グラデーションの入れ方。ステップアップテクニック。		
4		アイラインの種類と使い方。ステップアップテクニック。		
5		マスカラバリエーション。つけまつ毛の付け方。		
6		アイブローの描き方。眉の整え方。		
7		ベース→アイメイク→眉(モデルさんに合った)		
8		チークの入れ方と印象。		
9		ベース→アイメイク→眉→チーク		
10		リップラインの種類と印象		
11~ 12	フルメイク1	目元をパッチリとした可愛い印象のフルメイク		
13~ 14	フルメイク2	ボリューム感のある目元の大人メイク		
15	期末テスト	テスト課題「お客様のお顔立ちに合わせたメイキャップ」		
16~ 17	ダウンスタイル	ダウンスタイルの応用		
18~ 19	ハーフアップスタイル	ハーフアップの応用		

回	テーマ	内 容		
20	マーメイドスタイル	マーメイドスタイルの基礎		
21		マーメイドスタイルの応用		
22～ 23	チェリッシュウエディングヘア	チェリッシュウエディングのヘア練習		
24～ 25	夜会巻き	夜会巻きの基礎		
26～ 27	チェリッシュウエディングのヘア	チェリッシュウエディングのカクテル用ヘア		
28	夜会巻き	夜会巻きの応用		
29	期末試験の練習	期末試験のヘア練習		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「MICHIKO FUJIWARA パーフェクトメイク &ヘアーバイブル」 幸せのブライダル ヘア		出席率 実習・実技評価 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	【事前準備】 不要

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホスピタリティマインド		ブライダル学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	堀内 彰仁(実務経験有)

授業の概要

ブライダル・ホテル業界だけに限らず、業務やサービスではなく人にしかできないホスピタリティの大切さを学ぶ。また、社会生活のあらゆる場面で必要な「気づきの心・考え方・姿勢」など社会人の基礎力が増し、視野を広めることができる。

【実務経験】

堀内彰仁：ホテルスタッフとして6年。これまでのホテルスタッフの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。

授業終了時の到達目標

1. ホスピタリティ論を学び、ホスピタリティとサービスを区別し、意義・役割を明確にできる。
2. 様々な分野でのホスピタリティ対応を知り、自らの行動に直結させる。
3. グループワークや、ディスカッションの中で、他人の意見の尊重・自分の意見を発言できるようになる。

回	テーマ	内容
1	ホスピタリティって ホスピタリティの歴史と文化	ホスピタリティをどのように考えている？ ホスピタリティの起源と文化
2	ホスピタリティ文化	西洋、ゲルト族、ゲルマン民族、中国のホスピタリティ文化と日本のおもてなし文化
3	グループ討論	TDLとホスピタリティとは？
4	サービスとホスピタリティ	ホスピタリティの定義 サービスとホスピタリティの違い
5	サービスとホスピタリティ	分類ワーク まとめ
6	グループ討論	ホスピタリティ対応
7	ホスピタリティの5領域	個人と個人、個人と地域社会、組織と顧客のホスピタリティ
8	ホスピタリティの5領域	組織と従業員、組織と地域社会のホスピタリティ
9	各産業におけるホスピタリティの実践	宿泊、小売り、外食、医療、美容業
10	グループ討論	身近な各産業のホスピタリティとは？
11	マナーもホスピタリティ	マナーからみたホスピタリティ
12	サービスを超越する瞬間	ザ・リッツカールトン・ホテル、そごう横浜店コンシェルジュの事例から感動を生み出すサービスを学ぶ
13	サービスを超越する瞬間	ソニー生命保険(株)ファイナンシャルプランナー、(財)心臓血管研究所スーパーバイザーの事例から学ぶ
14	サービスを超越する瞬間	(株)HUGE(飲食・レストラン)、ノンフィクションライターの事例から学ぶ
15	課題・レポート	課題・レポート

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ホスピタリティ・コーディネーター ディズニーのホスピタリティ サービスを超越する瞬間	出席率 実習・実技評価 課題・レポート	10.0% 50.0% 40.0%	【準備学習】 サービス業で必要不可欠な「おもてなし」について、意識を高めておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル概論・HRS基礎Ⅱ		ブライダル学科/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	堀内 彰仁

授業の概要

お客様に対して、マニュアルだけのサービスではなく、要望や期待を汲み取りお客様の立場で考えられるホスピタリティの心を養う。またホテルや婚礼で提供される食材や調理法、技術の習得を目指す。

【実務経験】

堀内彰仁：ホテルスタッフとして6年。これまでのホテルスタッフの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。

授業終了時の到達目標

料飲サービスに必要な基本的知識・技術を習得する。

回	テーマ	内容		
1	食材・飲料の基礎知識	6つの基礎食品・食品の分類別特徴		
2	西洋料理の主な食材	前菜とは スープの分類と材料		
3	肉類の部位	仔牛・子羊・豚肉の部位について		
4	パスタ・チーズの種類	パスタ・チーズの各種類を覚える		
5	デザートについて	洋食で代表的なデザート名を覚える		
6	一般的な西洋料理調理法	主な魚、肉、調理表現について 魚の仕込み		
7	料理方法	それぞれの料理法の違いについて		
8	飲料の種類・特徴	ワインの分類 主要ブドウ品種		
9	スピリッツについて	コニャック・ウイスキーの種類と特徴		
10	サービスに求められる資質	資質について 身だしなみ・表情・マナー		
11~ 12	各種のサービス方法	料理を扱う上でのポイント サービスマナー		
13	客席案内	客を迎えるにあたって 注文の際の注意点		
14	スタッフの任務	料飲サービスに関わるスタッフの役割・呼称		
15	復習	復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	【準備学習】 ホテル・婚礼で一般的な知識を理解できるように、復習しておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル業界知識		ブライダル学科/2年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	神内・各業界の先生
授業の概要				
ブライダル業界(ジュエリー、写真、映像、旅行、式場紹介)で働いていらっしゃる方から、業界の知識や接客方法などを教えていただく。将来、どのブライダル業界に就職してもお客様との会話が弾むように、知識を身につける。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリー、写真、映像、旅行、式場紹介の基礎知識を知る。 ・プロの接客方法を伺い、トーク力をアップさせる。 				
回	テーマ	内容		
1	業界知識	プランナー、衣裳以外のブライダル業界とは?		
2~3	映像業界	ジーワークスの現場授業(チェルシーにて)		
4~5	ジュエリー業界	フラウ神戸		
6~7	旅行業界	JTB		
8~9	式場紹介	アイビー		
10	前期のまとめ	前期のまとめ		
11~12	映像・写真	ジーワークス		
13~14	ジュエリー業界	ジュエリー		
15~16	旅行業界	旅行		
17~18	葬祭	葬祭		
19	後期の復習	後期の復習		
20	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 40.0% 30.0%	【事前準備】 各授業の前に予備知識として、その分野の記事などを見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		ブライダル学科/2年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	神内 朋子・堀内 彰人
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の基本的ルールを再確認する ・実際に就職試験を受験する際の受験対策(面接・筆記) ・希望する企業に内定するためのノウハウを学ぶ ・添え状、お礼状の書き方、企業へのメールの仕方などを学ぶ ・就職してから必須な電話対応を学ぶ 				
授業終了時の到達目標				
希望企業が求める人材に近づき、入社後様々なことに対応できる人間力を磨く。 就職後に困らないために、電話対応に限らずマナーとして最低限のことは理解する。				
回	テーマ	内容		
1	就職活動スケジュール	個々のスケジュール確認と今後の動き		
2~4	試験準備	面接試験対策 履歴書作成		
5~7	試験対策	個人面接練習		
8	お礼状と入社までのスケジュール	お礼状の書き方 入社までのスケジュール確認		
9	メール対応	企業からのメールの返信方法		
10	他社企業	他社企業の情報と比較		
11	就職活動の動き	動きのまとめ		
12	1年生との座談会	就職に関する座談会		
13~15	社会人の基礎知識	新入社員のマナー		
16~17	電話対応のビジネスマナー	基本の電話の受け方、電話に出る前の準備・出方・担当者不在の場合の対応		
18~19	電話対応のビジネスマナー	困った時の電話対応 電話の切り方		
20	電話対応のビジネスマナー	電話対応に欠かせない伝言メモの書き方		
21	電話対応のビジネスマナー	よく使用する敬語 間違いやすい言葉		
22~24	よくわかる伝え方・話し方	社会に出て上司に報告する際の伝え方・話し方について		
25	まとめ	後期復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 20.0% 50.0%	【事前準備】 不要